

厄とか厄年とか云われますが、厄とは自分にふりかかってくる苦しみや災いや災難のことで、その厄が自分にかかってこないように色々なことが考えられ昔から生活の中で行われてきました。今年の氏子祭は二日間に渡り雨に降られてしまいました。氏子祭は、氏神さまが御輿に乗り町々を隅々までまわり、氏子の皆さんの厄を祓ってくださるのです。

昔は祭のころになると生水は飲むな、火を通した物を食べよ、外から帰ったらよく手を洗う、うがいをしろ等々母親によく注意されました。実際、この時期になると伝染病の赤痢や疫病がはやり、大勢の人(特に子ども)が死亡しました。私の兄も5才の時に疫病にかかり亡くなっていました。

☆六郎が語る☆  
南千住一口話  
第153回

地元の氏神さま素盞雄神社では毎年6月晦日に大祓の神事を行なっています。各氏子の家から前もって配布してあった

人形ひとがた(自分の厄を移しておいた)を集めて式典のあとに隅田川に流す儀式が行われました。祭礼が終わると拝殿前の鳥居のと

ころに大きな茅ちの輪(チガヤやワラを紙で包み束ねて作られる大きな輪)を左側から廻って輪をくぐり右へ廻って輪をくぐり、もう一度左に廻ってくぐって身を清めて神前へ向かって参拝します。昔から語り継がれて来た行事です。

これは祭神の素盞雄命が蘇民将来の正直で親切的な対応に茅の輪を腰につけることで

疫病から身を守ることを教えて、蘇民将来は助かりました。みこと命に意地悪をした兄は疫病で死んでしまったと吉備の国(広島地方)の備後風土記に説話として記されています。一年を通した種々の行事で昔の人々は自然環境が厳しい中で生きていくために暮らしの中にけじめをつけ、正月が過ぎ早6ヶ月が過ぎて夏越なごしはらいの祓を迎えられて良かったと神に感謝し、次の年越の祓まで頑張つて生き抜くぞと節目節目の行事を大切に気を引き締めて一日一日の時間を大切に過ごしてきました。

現代では環境も生活条件も大きく変化し、生きていること命を大切にすることを軽く考えている人々が多いように思います。生きていることに感謝して大勢の人々の力によつて生かされていることを忘れずに日々の時間を大切にしていきたいです。時が過ぎるのはあつと言う間です。日々の目標を持つて今の時間を大切に生きますように。

もうすぐ、ユツ通りの盆踊り大会です。今年は8月23日(土)24日(日)に行います。8月21日(木)22日(金)午後7時〜9時に南千住駅前ふれあい館2階多目的室で盆踊りの練習が行われます。ぜひ練習にもご参加ください。

また、今年は松尾芭蕉おくのほそ道旅立の記念行事も行う予定です。俳句大会や街歩きなどこれらの行事にもぜひご参加ください。いろいろ町おこしのために頑張つてます。ご協力を願います。

暑くなりしました。体調管理に十分にご注意ください。

仙成こと杉山六郎



要矢の  
ハーブ  
一口メモ  
TEL3801-4725

朝顔市もおわり、蒸し暑い日が続きますが皆様、いかがお過ごしですか? 皆さんは毎日NHKの朝ドラ「花子とアン」をみられていますか? 私もほぼ欠かさず見えています。最後の「ごきげんよう、さようなら」のセリフ・・・内容によって同じ言葉でも感情が変化するところが私は楽しみの一つです。

そのNHKでも放送された脳の活性化のアロマオイルも話題になりましたね。

今回は香りだけではなくハーブティでも活性をしようと新しくブレンドが出来ました。アンチウブリ(脳活ブレンド)です。

朝用・夜用と各5袋計10袋入り(2268円)です。今回は朝のブレンドのご紹介です。どうぞお試しください!

◇ローズマリー

全身の機能を活性化させ老化を予防し疲れをとってくれます! 血液循環、虚弱体質によいです。

◇メリッサ

眠れないときや、神経不安なときによいです。

◇ベルベーナ

胃の不調のときに良いです。不眠にもよいこともあり、フランスでは夕食後から就寝前までに好んで飲まれるハーブです。

◇ローマンカモマイル

不眠や不安感のある時、落ち着きたいときによいです。

【飲み方】

ポットにハーブをいれます。熱湯を350cc注ぎ3〜4分おいたら飲み頃です。

ハーブは完全無添加、甘味料・保存料も一切使わず、ハーブの力を変質させない植物100%そのもののお味です。ハーブティを作ったから、立ちのぼる香りを吸い込みながら飲みますと、香り(アロマ)の効果もあります。ハーブティは水溶性の成分が主体で、体の中で時間の経過とともに分解され、汗や尿などを經由して排出されます。体調や目的に合わせて朝・昼・晩の食前・食後・食間にいずれかで、飲用ください。

※ハーブは医薬品ではありません。働きは個人の体質や生活習慣によっても多少ちがいます。